

筑後川水系古賀ノ尾川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1. 説明文

(1) この図は、筑後川水系古賀ノ尾川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の古賀ノ尾川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により古賀ノ尾川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 佐賀県

(2) 指定年月日 令和7年2月5日

(3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

(4) 対象となる河川

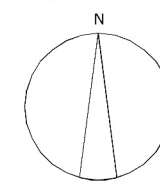
筑後川水系古賀ノ尾川（実施区間）

左岸：城原川合流点から県管理区間上流端まで

右岸：城原川合流点から県管理区間上流端まで

(6) 指定の前提となる降雨 古賀ノ尾川流域の6時間の総雨量647mm

(7) 関係市町村 神崎市



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m ~ 0.5m未満の区域
- 0.5m ~ 1.0m未満の区域
- 1.0m ~ 3.0m未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m未満の区域
- 5.0m ~ 10.0m未満の区域
- 10.0m ~ 20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

浸水想定区域の指定の対象となる河川



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 335」